

第15期 (2026年3月期)

決 算 公 告

(2025年 4月 1日 から
2026年 3月 31日 まで)

兵庫県西宮市高畑町4番27号

アイエイチロジスティクスサービス株式会社

貸 借 対 照 表

(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	3,455,998	流動負債	4,759,559
現金及び預金	5,754	リース債務	59,682
売掛金	3,391,032	未払金	2,959,239
貯蔵品	6,825	未払費用	103,838
前払費用	5,197	未払法人税等	223,436
未収金	42,677	未払消費税等	136,599
その他	4,510	預り金	9,014
		関係会社預り金	1,017,596
		賞与引当金	239,378
固定資産	2,065,639	役員賞与引当金	10,772
有形固定資産	977,103	固定負債	452,328
建物	30,785	リース債務	152,906
構築物	9	特定従業員退職給付引当金	16,472
機械装置	28,586	繰延税金負債	114,649
工具器具備品	6,694	資産除去債務	168,300
リース資産	193,262		
建設仮勘定	717,765		
無形固定資産	57,448	負債合計	5,211,887
ソフトウェア	20,048	純資産の部	
無形固定資産仮勘定	37,400	株主資本	309,750
投資その他の資産	1,031,087	資本金	90,000
前払年金費用	696,316	資本剰余金	130,000
差入保証金	333,954	その他資本剰余金	130,000
その他	817	利益剰余金	89,750
		利益準備金	22,500
		その他利益剰余金	67,250
		繰越利益剰余金	67,250
		純資産合計	309,750
資産合計	5,521,637	負債・純資産合計	5,521,637

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

注記事項

重要な会計方針に係る事項に関する注記

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 資産の評価基準及び評価方法 | |
| 貯蔵品 | 月別移動平均法による原価法 |
| 2. 固定資産の減価償却の方法 | |
| 有形固定資産
(リース資産を除く) | 定率法
ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)及び、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。 |
| 無形固定資産
(リース資産を除く) | 定額法
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。 |
| リース資産 | リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 |
| 3. 引当金の計上基準 | |
| 賞与引当金 | 従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。 |
| 役員賞与引当金 | 役員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。 |
| 退職給付引当金 | 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
・退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法
過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数(12年)による定額法により費用処理しております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(12年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。 |
| 4. 収益及び費用の計上基準 | |
| | 商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。
当該履行義務は、国内販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間であるため、商品又は製品の出荷時点において充足されると判断し、出荷時点で収益を認識しております。国外への販売については、輸出の取引条件による在庫の保有に伴うリスクが顧客に移転する時点で収益を認識しております。 |

当期純損益金額

当期純利益 509,271千円
(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。